

The Pulpit Bible  
御言葉の存在感  
Holy words



The  
Pulpit  
BIBLE

聖書協会共同訳  
聖書

SI98 / SI98DC

聖書協会共同訳  
講壇用聖書



■ 講壇用聖書  
SI98



■ 講壇用聖書(旧約聖書統編付き)  
SI98DC



■ SI98 化粧箱



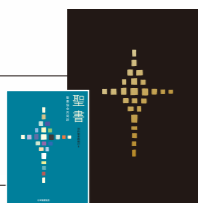
■ SI98DC 化粧箱



<サイズ比較>

SI98 / SI98DC

SI153  
中型 (B6判)



172mm (7.13in)

匠の技、光る。



講壇用聖書製作決定。  
早期予約を開始  
いたします。

一般財団法人 日本聖書協会  
104-0061 東京都中央区銀座 4-5-1 mail: distri2@bible.or.jp

日本聖書協会

# Tradition Faith 伝統と信仰 次世代への継承 >>> New Generation

日本語による最初の講壇用聖書は今から126年前、文語訳(明治元訳)完成9年後の明治29(1896)年に発行されました。次いで昭和2(1927)年、新約聖書を大正改訳に変えた講壇用聖書が発行されました。いずれも本草装、厚表紙、三方金の重厚な装幀であり、今日の大型講壇用聖書の原型となるものです。

その30年後(1957年)に発行された口語訳講壇用聖書、さらに34年を経て新共同訳講壇用聖書(1990年)は、広く国内の教会で用いられてきました。それから30年後「聖書協会共同訳」が登場。いよいよ、2022年、その講壇用聖書の製作を開始いたします。

ご注文をいただいた後、ヨーロッパの伝統が今も生きるオランダの工房の職人により、一冊一冊、丁寧に製作します。このためお時間をいただきますが、ご満足いただける一冊をお届けできると確信しております。

教会、教育機関、ブライダル、職場、ご家庭などそれぞれの場で、キリスト教の伝統と信仰を大切に育み、次世代へと継承するために、聖書協会共同訳講壇用聖書が広く用いられることを、心から願っております。



## 仕様 Specifications

**専用化粧箱**  
金箔押し書名/ロゴ入り  
(旧約聖書続編付きはエンジ)

**聖書**  
総革装 A4判  
金箔押し書名/ロゴ入り  
小口は三方金

(旧約聖書続編付き)  
見返しおよび化粧箱内部には  
工房オリジナルのマーブリング  
ペーパーが使用されています

細部にもこだわって  
箔を施しました

出し入れに便利な開閉式

\* 仕様は一部変更の可能性もあります。  
\* 聖書本体への名入れはできません。  
特製講壇用しおりに名入れを  
サービスいたします。

## Atelier 工房 | 製作工程 Production process

これまで講壇用聖書の製作はおもに国内で職人の手によって行われてきました。しかし、聖書協会共同訳講壇用聖書の製作準備を始めた当協会出版部は、種々の理由により国内製作がもはや不可能であることに行き当たります。そこで海外製作の道を探り、カロフ聖書(バツハが使用した聖書)のファクシミリ版(日本では教文館が取り扱い)の製作を行っている、オランダのフォプマ・ヴィエール製本所で製作することになったのです。

印刷工程を終えた聖書の本文(ブックブロック)は、小口の三方金を付ける作業のためにフォプマ氏自身がスイスアルプスの北側にあるシュメリコンという町まで片道905キロ、約10時間をかけて車で持ち込み、作業完了後に大切に持ち帰ってから最後に革表紙を付ける作業を行うといます。

本文の印刷

マーブリング

この製本所はヴィッツェ・フォプマ氏がオランダ北部・ヴィエール村に持つ工房で、特殊製本の出版物をドイツ国内のみならず、日本などの海外から多数請け負っています。フォプマ氏は、欧州の伝統的な手工芸としての製本方法と現代の技術を融合し、美術作品ともいべき数々の本を製作しています。

革表紙に施される金箔押しは、聖書協会共同訳の装幀を一貫して手がけてきた yme graphics の三輪義也氏による洗練されたデザインです。

このように手をかけて生み出されるのが、今回ご案内する「聖書協会共同訳 講壇用聖書」なのです。

三方金の工程

フォプマ・ヴィエール工房

教会、学校の講壇用聖書として

人生の折々の記念として

家族の信仰の伝統と継承の象徴として